

校長室より

「二松から飛翔へ」

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼敦之

2023 in Summer

梅雨が明け、連日猛烈な暑さが続いています。熱中症で救急搬送される人が昨年同時期の2倍を超えたとの報道を目にし、東京では26日に気温が37度を超える猛暑日となりました。くれぐれも水分をこまめに補給し、体調管理に気を付けてください。

夏季休業に入り、午前中は夏季講習の受講者、午後は部活動などで多くの生徒が登校しています。

7月25日の昼、ダンス部が大手町の「サンケイビル」で開催された「夏祭り2023」に参加し、パフォーマンスを披露するというので応援に出かけました。この祭りは、オフィスで働く方へ楽しみを提供し、オフィスライフに彩りと賑わいを創出するという目的で開催されるそうです。

二松の仲間や保護者も大勢かけつける中、圧巻のパフォーマンスを見せつけてくれました。



ダンス部の応援後、照り付ける日差しを受けつつ九段坂をテクテクと学校に戻ると、校内でもいくつかの部が活発に活動をしていました。

吹奏楽部は打楽器・ホルン、トランペット、クラリネット、フルートなどパートごとに練習。コンクールに向けての音合わせでしょうか？ 各パートの練習中にも関わらず声を掛けて話をしました。

理科室では理数科研究部が生物の標本？を作成。「エキザカム」という植物を滅菌したビーカー内のゼリー状の培地で栽培し、一つずつ丁寧に密閉していました。二松祭の出し物の景品になるようです。

情報通信研究部も文化祭の作品作りに取りかかっていた。その後、制作中のゲームのプログラムに登場する“ラスボス”の舞台を校長室に設定するとかで校長室に取材にきてくれました。作品の仕上がりが楽しみです。

勉強をしている生徒の姿も見かけます。自習室では午前中の講習の復習に取り掛かる人や私塾（化学）で頑張る生徒もいました。

それぞれ、自分の夢や希望に向けて取り組み、楽しんでいる様子を紹介しました。暑い夏を乗り切ろう！！

